

中美研会報 No. 150

2026.3.30 中越美術教育研究会 事務局／長岡市豊詰町227 長岡市立上組小学校 〒940-1142 ☎(0258)22-0959

新たな一歩

中越美術教育研究会 会長
村山 裕之



当研究会のメイン事業である「中越教育美術展」も61回目を迎え、今年も1万4千点を超える応募作品の中から、特別賞・特選作品600点が展示されました。展覧会には受賞されたご家族連れの姿だけでなく、毎年こどもの絵を見るのを楽しみにされている方々等、幅広い層に観ていただいております。

展覧会の最終日には、私のかつての教え子が、お子さんの絵が飾られているとのことで仕事の休憩時間をぬって訪ねてきてくれました。そのお子さんは低学年で、大好きな家族とお家の窓から花火大会を眺めている絵でした。家族一人一人の表情が微笑ましくて、観ているこちらまで心温まる絵でした。

夜空には、大きな花火と一緒に本物の花も同じ大きさで咲いていました。「なんで、お花が夜空に？」と思って絵をよく見ると、お家の周りに花壇があり、そこには小さな花がいっぱい咲いていました。きっと、「お庭の花も一緒に咲かせたかったのだろう」と思いました。

その場にお子さんがいなかったのは残念でしたが、私は教え子と一緒に「この子には、花火がこんな風に見えるんだねえ。」「こんな細かいところまで描いてるなんて、よく見てるなあ！」等、その子の気持ちや目線になったつもりで、たくさんおしゃべりをして楽しい、ひと時を過ごすことができました。

私たち大人は、ともすると色や形の美しさや技術に目が向きがちですが、大切なのは絵の中に込められた『思い』だと思っています。風景画であれ、人物画であれ、空想

画であれ、それは共通しています。また発達年齢の違いによって表現力には差がありますが、それを超える「楽しい!」「すごい!」といった感情や、思春期ならではの心象等、『伝えたい思い』こそが、観る人を惹きつけるのだと感じます。

展覧会場では、ぜひ作品を通して、お子さんと、ご家族と、ご友人とたくさんおしゃべりをしてもらいたいと思います。そして、学校・園の先生方には、ぜひ研修の場として活用していただき、先生方同士で子どもの目線や心情を想像して、おしゃべりを楽しんでもらいたいと思います。そして作者である本人から直接、話を聞いてもらえれば、きっと新たな発見や学びがあるはずですよ。

春先には「教職員美術展」を開催いたしました。自ら制作に携わっている先生方の発表の場として30年継続しているのは私たちの誇りです。

また、夏休みには「夏季研修会」を開催し、日頃の先生方の指導に役立つワークショップや講演会等を実施しています。今年度は昨年度の関東ブロック大会で実践発表された山本啓亮教諭を講師に、身近な素材を活用した造形遊びを教師が体感する研修を実施いたしました。

私たちの研究会は、会員だけでなく、図工・美術教育に興味関心がある先生方や日頃の図工・美術指導に悩みのある先生方等、誰でも気軽に参加できる会を目指しています。現在、ホームページをリニューアルしており、来年度からは、より使いやすく、そして魅力を発信できるように新たな一歩を踏み出しました。

これからも、中越美術教育研究会の様々な活動やホームページの利活用が、皆様の指導力の向上や、子どもの豊かな個性の育成の一助となれば幸いです。

令和7年度 中越美術教育研究会 事業内容

●第1回 理事会

・令和7年5月27日(火) 上組小学校
会務決算報告・予算事業計画審議等

●教職員美術展2025～第31回～

・会期 令和7年5月15日(木)～18日(日)
長岡市美術センター (中央図書館)

●第58回 夏季研修会

・令和7年8月7日(木)
見附市ふるさとセンター

●第1回 美術振興部会

(中美展委員会・広報委員会)

・令和7年8月27日(木) 上組小学校
審査会計画・作品集・会報原稿依頼等

●中美展一次審査会

・令和7年11月20日(木) 上組小学校
審査員27名

●中美展二次審査会

・令和7年11月28日(金) 上組小学校
東京造形大学 教授 山田 猛 様
上越教育大学 教授 五十嵐史帆 様
千葉大学 准教授 佐藤 真帆 様

●第2回 中美展委員会

・令和7年11月28日(金) 上組小学校
展示計画

●第2回 広報委員会

・令和7年11月28日(金) 上組小学校
中美ホームページ計画

●第3回 広報委員会

・令和7年12月25日(木) 上組小学校
中美ホームページ計画

●「第61回 新潟県中越教育美術展」

・会期 令和8年1月9日(金)～12日(月・祝)
長岡市美術センター (中央図書館)
・1月12日(月・祝)作品解説会

●役員会

・令和8年2月26日(木) 上組小学校
各事業の反省と次年度への提言

●ホームページリニューアルオープン

・令和8年3月

●中美会報150号発行

・令和8年3月

第58回 夏季研修会 報告

身近な材料を使った造形遊びワークショップ「造形遊び はじめの一步」



研究部長 長岡市立川崎小学校 堀 和宏

- 1 日 時 令和7年8月7日(木) 13:30～15:30
- 2 会 場 見附市 葛巻地区ふるさとセンター
- 3 講 師 山本 啓亮 先生（見附市立見附小学校，中越美術教育研究会 研究部員）
- 4 参加者 24名（県内小中学校，特別支援学校，長岡市教育委員会より）
- 5 内 容 身近な材料を使った造形遊びワークショップ「造形遊び はじめの一步」

平成10年に小学校全学年で造形遊びが実施されるようになってから15年以上が経ち、その間、様々な実践が行われ、造形遊びのよさや重要性が広く知られるようになりました。一方、「何をすればよいか分からない」、「準備が大変」、「どのような力がつくのか」、「中学校には造形遊びがないからよく分からない」など、造形遊びの授業に難しさを感じる声も聞かれます。

そこで、今年度は、「造形遊び はじめの一步」と題し、参加者全員が造形遊びを実際に体験する中で、遊びを通じた表現の楽しさや子どもの表現の可能性を実感したり、指導や支援のポイントを見出したりすることができるよう、ワークショップ形式で研修を進めました。講師は、中美研究部員の山本啓亮先生（見附小）です。

二つのワークショップでは、造形遊びの基本である材料の面白さや行為の楽しさから子どもの興味関心を引き出し、主体的な表現活動を促す三つの題材について提案しました。

【造形遊びワークショップ①】「紙・紙・紙コップ」（紙コップを使った題材）

大量の紙コップを提示し、どんな活動ができそうか考えました。並べる、重ねる、積む、つなぐなど、思い付いた活動を試しながら、身長よりも高く紙コップを積み上げたり、重ね方や組み合わせ方を工夫して自分のイメージする世界を表現したりして楽しみました。

一人で、グループで、途中でできた仲間と一緒に協力してなど、表現方法や形態を選択しながら進める「自然発生的な造形活動」の楽しさを体感することもできました。



【造形遊びワークショップ②】「しんぶんしと なかよし」「つないで つるして」（新聞紙を使った題材）

材料（新聞紙）の面白さや触った感覚などから思い付いたことを試しながらつくる題材「しんぶんしと なかよし」と、行為（つなぐ、つるす）の楽しさやできた形などから思い付いたことを試しながらつくる題材「つないで つるして」を体験しました。

「しんぶんしと なかよし」では、丸める、巻く、ねじる、破る、かぶるなど、新聞紙の使い方を試す中で、新たな活動を思い付いたり、できた形を組み合わせたりして表現する楽しさを味わいました。

「つないで つるして」では、新聞紙のつなぎ方やつるし方を工夫したり、空間を変化させたりする中で、できた形や空間から発想や活動が広がっていく楽しさを体感しました。

どちらの題材も、参加者が自然と交流し、できた形を組み合わせたりつなげたりして、対話しながら表現を楽しみました。



造形遊びの指導経験の有無や校種異なる参加者が、ともに「造形遊び はじめの一步」を踏み出すことができるよう、身近な材料を使い、その使い心地の面白さや試行錯誤する楽しさを味わいながら気軽に表現できる題材を提案しました。参加者からは、「実際に体験し、子どもへの支援やアプローチを考えることができた」、「子どもの活動をイメージでき、没入する楽しさや気持ちよさを感じた」、「教材・環境の整備、過程や結果の記録、振り返りの言語化など、造形遊びへの理解が深まった」などの感想が多くあり、ニーズに合った研修内容であったと考えています。今後も、図工・美術を通して子どもの感性を育む教育活動への「一步」を踏み出すためのヒントやアイデアとなる研修を実施していきます。

第61回 新潟県中越教育美術展 経過報告



中越教育美術展・委員長

金澤 健志

この度は14,466点もの出品がありました。感性や想像力を豊かに働かせ、描くことに没頭する子供たち、寄り添って指導にあたる先生方、子供の可能性を応援して下さる保護者の皆様に支えられての出品数です。心より感謝申し上げます。

■1次審査会

(2025.11.20 長岡市立上組小学校)

中越地区の教職員が中心になり、佳作から金賞までを選定しました。一枚一枚と何度もじっくりと対話し、共感することで、絵のよさを見いだしています。特別賞、特選、金・銀・銅賞、佳作と、多くの賞を設定することができるのも、このていねいな審査があってこそだと考えています。

■2次審査会

(2025.11.28 長岡市立上組小学校)

3名の先生方から審査をしていただきました。

○山田 猛 様 東京造形大学教授
(小5・6年, 中1～3年)

○五十嵐史帆 様 上越教育大学教授
(保幼, 小1・2年)

○佐藤 真帆 様 千葉大学准教授
(特別支援, 小3・4年)

1次審査で選定した作品とさらに対話を重ね、より深くそのよさを味わいました。特選を選び、さらにその中から特別賞(会長賞・新潟日報社賞・中越美術教育研究会賞)を選定しました。

■第61回新潟県中越教育美術展

(2026.1.9～12 長岡市美術センター)

特別賞・特選の作品664点を展示し、4日間の会期中に延べ3,208人もの方にご来場いただきました。受賞した自分の絵の前で、家族に楽しそうに話す子供、うれしそうに耳を傾ける家族の姿も印象的です。友達の作品を見つけたり、気になる作品をじっくり見つめたりする姿もありました。幅広い年齢の子供の作品を見て刺激を受けることができるのも、この展覧会の魅力の一つです。

■作品解説会

(2026.1.12 長岡市美術センター)

1次・2次審査会に関わった役員から、3名(佐藤隆幸先生・江陽中、堀田祐嗣先生・川崎東小、金澤健志・堀之内小)による作品解説会を実施しました。会場を訪れた作者と対話できる機会もありました。作品の魅力に迫り、鑑賞がより一層楽しくなる会でした。

出品者全員に賞状を送付いたしました。絵を描く楽しさ、喜びを味わうきっかけの一つになってくれれば幸いです。子供たちの思いがこもった絵を多くの皆様に見ていただきたいというのが、展覧会を運営する私達の願いです。多くの個性豊かな作品を通して、楽しく幸せな気持ちを共有することができました。ありがとうございました。

〈審査会の様子〉



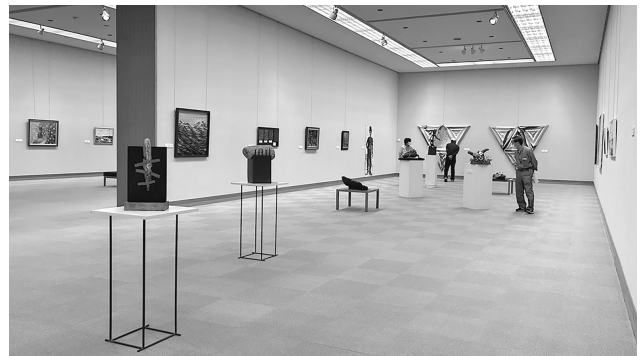
中越教職員美術展2025 ～第30回～

- 会期／令和7年5月15日(木)～18日(日)
- 会場／長岡市美術センター（長岡市立中央図書館2階）
- 主催／新潟県中越美術教育研究会

- 後援／長岡市教育委員会 新潟日报社
- 一般財団法人 新潟県教職員構成財団
- 公益財団法人 日本教育公務員弘済会新潟支部

No.	題名	出品者	出品者
1	いざ 帰らむ	F50 よこ	池上 秀敏 元教職員
2	山道に行く	F10	結城 和廣 元教職員
3	山路を往く	P80	結城 和廣 元教職員
4	思い出の街角-ヴェネツィア	90×110	藤本 市郎 元教職員
5	引潮-1月のマーブル	106×106	藤本 市郎 元教職員
6	魚野川河岸早春	S50	水落 裕子 元教職員
7	魚野川河岸待春	F50	水落 裕子 元教職員
8	出会いから 251	F20	中嶋 均 元教職員
9	出会いから 252	F20	中嶋 均 元教職員
10	裸婦	63×51	高井 将行 栃尾高校
11	裸婦	63×52	高井 将行 栃尾高校
12	春の日-跳ねる馬	A3	三上 祥司 元教職員
13	夏の日-融ける馬	A3	三上 祥司 元教職員
14	サラバ東京	F8	三上 祥司 元教職員
15	ガンダーラの乙女達	P100	北村 和則 中越高校
16	夜行	F10	北村 和則 中越高校
17	静物	F30	丸山 一夫 大手高校
18	長生橋東詰	F50 よこ	本田 貴哉 正徳館高校
19	どこにいる？	M20 たて	荒木 広明 長岡・旭岡中
20	名札と作品	92×46	野村 宏毅 元教職員
21	SOU	四切	大橋 麻耶 長岡・越路中
22	牧草地の牛	F8	金澤 健志 魚沼・堀之内小
23	孔雀	F25	竹田 祉薫 長岡・大島中
24	長岡の花火	F25	南雲 学 長岡市立総合支援学校
25	犬と牛	F30	小林 学 元教職員
26	闘い	F30	小林 学 元教職員
27	悠久山-春	A3	高橋 淳一 燕・燕中
28	悠久山-秋	A3	高橋 淳一 燕・燕中
29	移住計画	B4	鰐淵紀美子 長岡市教育委員会
30	カーペラ	A5	五十嵐由美子 三条・旭小
31	たねまき	18.8×14.2	池田 義広 附属長岡中
32	アル	35×24	池田 義広 附属長岡中
33	三夏 ~sanka~	30×30×85	中村富美子 元教職員
34	郷愁	50×80×22	中村富美子 元教職員
35	Fishing	70×52	小沼智恵利 ギャラリーみつけ
36	あるかたち-12	63×45	堀田 正 北陸学園

No.	題名	出品者	出品者
37	作品 -S-	16×14×27	堀田 正 北陸学園
38	パレイドリア 1	B1	田中 大志 長岡・長岡聾
39	パレイドリア 2	B1	田中 大志 長岡・長岡聾
40	宙(コスモ)	B2	溝口 敏美 長岡高校
41	後継類「等身大のわたし」	170×88	田村 敏宏 柏崎・北条中
42	溜る	90×90	田村 敏宏 柏崎・北条中
43	昼下がりに	20×20×30	田村 敏宏 柏崎・北条中
44	結-YUI-	12×10×13	村山裕之 十日町・松代中
45	サンの0乗 1	180×200	田中幸男 見附高校
46	サンの0乗 2	180×201	田中幸男 見附高校
47	夢	40×50×34	田中幸男 見附高校
48	夢	40×50×35	田中幸男 見附高校
49	Jewel monster	25×35×25	田中幸男 見附高校
50	空蟬 spectre	46×111	中村 信 新潟工業高校
51	逆光 Mosaic	45×73	中村 信 新潟工業高校
52	巴里 2000	23.5×26.5	津端 朝宏 長岡・栃尾南小
53	漂着<流木> 3-11	35×23×42	霜鳥健二 元教職員
54	漂着<流木> 3-13	24×18×45	霜鳥健二 元教職員
55	moratorium	40×30	佐藤木乃美 燕・燕中
56	こだまのおっかー	A4	石垣 言美 長岡・上組小
57	ゆめ5	B4	目黒 由美 長岡市教育センター
58	アオミドリ	A4	石黒 裕子 元教職員



『中越教職員美術展2025』について

中越教職員美術展 実行委員長 高橋 淳一



会期：令和7年5月15日(木)～18日(日)
会場：長岡市美術センター

今年度の教職員美術展は、これまで1月下旬から2月初旬に実施していた開催時期を5月に変更し実施いたしました。

今年度の来場者数は、例年より少ないものの、347名の方より来場していただきました。来場者のアンケートからは、「素敵な作品ばかり」という感想だけでなく、「作品からエネルギーをもらいました」という感想があり、鑑賞された方の力になることで開催する意義を感じました。

今年度の出品者数は、37名、出品数は58点となりました。ご退職された先生方の作品は、モチーフや表現に人生で培ったものがひしひしと感じられる作品ばかりでした。元教職員の池上秀敏様の「いざ 帰らむ」は、人物の様々な感情がよく鑑賞者に伝わる作品でした。高校の先生方の作

品は、個展や展覧会への出品されるものが多く、熱量を感じる作品ばかりでした。大手高等学校の丸山一夫様の「静物」は一つ一つの対象に対して鋭い観察眼での作品でした。小中学校の現職の先生方もご多忙中、制作者として自分の表現を追究され、表現に磨きをかけていることが作品から感じられました。出品された皆様ありがとうございました。

来年度の『中越教職員美術展2026』は、次のとおり予定されています。

会期 令和8年5月14日(木)～5月17日(日)
会場 長岡市美術センター（長岡市立中央図書館2階）

○展示作業 令和8年5月13日(水) 14:00～
○搬出作業 令和8年5月17日(日) 15:00～
多くの皆様からの出品をお待ちしています。

最後になりますが、ご多用の中、展示や搬出入にご協力いただいた皆様、事務局のご尽力並びに葵屋画材店様からの多大なるご協力に、心から御礼申し上げます。